

2016 年 9 月 1 日

NPO 法人 ICT 救助隊

理事長 今井啓二

〒142-0063 東京都品川区荏原 5-5-3-102

Tel 03-3727-0479

実 施 報 告 書

【難病コミュニケーション支援講座 埼玉県立大学 120 講義室】

日時：2016 年 8 月 27 日(土)～28 日(日)

場所：埼玉県立大学 120 講義室

参加者数：40 名

内訳：作業療法士 4 名、理学療法士 6 名、患者本人 1 名、家族 2 名、看護師 6 名、保健師 4 名、相談員 2 名、介護関係 6 名、教員 1 名、機器開発 2 名、ヘルパー・ボランティア 5 名、その他 1 名
年齢：20 代以下 0 名、20 代 5 名、30 代 6 名、40 代 9 名、50 代以上 7 名（アンケート回答より）

主催：NPO 法人 ICT 救助隊／日本 ALS 協会福井支部

協賛：NEC CSR 社会貢献室

協力：医療法人親和会 訪問看護ステーション ホウエイ／鳳永病院 リハビリテーション部

後援：埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科 草加市リハビリテーション連絡会

【プログラム】

<1 日目 8 月 27 日(土)>

1 日目（受付 9：30～）

10:00 透明文字盤・口文字実技練習

11:00 レッツチャット等意思伝達装置について

11:50 昼食

12:50 当事者からのメッセージ（山中敏彦氏）

13:20 事例報告

13:40 伝の心／オペレートナビ体験

15:30 ALS 等の進行性の神経難病のコミュニケーション支援について
（狭山神経内科病院言語聴覚士 山本直史先生）

16:30 終了

<2 日目 8 月 28 日(日)>

2 日目（開場 9：30～）

10:00 HeartyLadder 体験

11:00 ALS 等の進行性の神経難病のコミュニケーション支援について
（東京都立神経病院作業療法士 本間武蔵先生）

12:00 昼食

12:50 ALS 等の進行性の神経難病のコミュニケーション支援について
(東京都立神経病院作業療法士 本間武蔵先生)

14:30 iPad・iPhone を1 スイッチで操作体験

14:50 機器体験（こころかさね、視線入力、スイッチの適合）

15:50 埼玉の難病コミュニケーション支援～地域連携を目指して～
(国立病院機構東埼玉病院作業療法士 勝澤香織先生)

16:30 終了

【写真】

山本直史先生の講義



当事者からのメッセージ（山中敏彦氏）



レッツチャット操作体験



本間武蔵先生のお話



埼玉県地域連携について、勝澤香織先生より



集合写真



最初の質問のみ、講座を受ける前にお答えください。

患者さんへのコミュニケーション機器の導入で、どのようなことに困っていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのような機器があるのかを知らない。－19
2. 機器の使い方がわからない。－16
3. 患者さんがコミュニケーションに積極的でない。－4
4. 患者さんのご家族がコミュニケーションに積極的でない。－0
5. 時間がない・時間がかかる。－7
6. その他－6
 - ・今まで患者さんと関わったことがないため、とても不安である。
 - ・担当している患者様が今後必要となってくるが私自身とても知識不足である。
 - ・機器の性能などを詳しく知りたい。
 - ・実際に関わったことがないので何も知らない。相談を受ける時に少しでも知っておきたい。
 - ・適合。自分自身の技術の向上。

意思伝達装置の認知度

講座を受ける「前」に、意思伝達装置についてどれくらい知っていたのかを教えてください。

	知っていた使った こともあった	知っていたが使った ことはなかった	全く知らなかった
透明文字盤	20	6	1
口文字	6	13	7
レッツチャット	9	15	3
伝の心	9	14	3
オペレートナビ	1	8	15
Hearty Ladder	3	9	13
スイッチの適合	6	11	9

視線入力	6	13	7
iPad のスイッチ操作	2	14	9

講座についての理解度

どれくらい理解できたかを教えてください。

	とてもよく 理 解 で き た。人に教 えられる。	まだ練習が 必要だが、 理 解 で き た。	どちらとも いえない。	まだ不安が ある。自信 がない。	まったく 理解でき な か っ た。
透明文字盤	11	13	0	0	0
口文字	3	17	1	3	0
レッツチャット	6	13	0	2	0
伝の心	6	12	1	3	0
オペレートナビ	2	5	4	5	1
Hearty Ladder	3	14	2	2	0
スイッチの適合	3	11	3	3	0
視線入力	2	13	3	2	0
iPad のスイッチ操作	2	10	3	5	0

【アンケート集約】

受講しての感想、聞きたかったことなどをお書きください。

- ・参考になりました。これをきっかけにして、勉強を続けていきます。
- ・透明文字盤などの基本的な使い方がよくわからず、ほぼ自己流で少し使用している程度でしたので、今後積極的に練習していきたいと思います。
- ・透明文字盤、レッツチャット、伝の心を実際に体験できてよかったです。聞いた事はあっても、どんなものかも知らなかったのです。
- ・患者さんの進行状況においての、コミュニケーション方法の選択方法が学べて、今後に活用していけると思いました。
- ・まだまだ知らないことがあったので、大変に参考になりました。
- ・コミュニケーションのツールがいろいろあることを知り、幅が広がりました。
- ・コミュニケーションの取り方の工夫などがよくわかりました。いろいろ幅広くできることを学び、日々の看護で生かせるようにと思います。
- ・コミュニケーションの工夫が参考になりました。早速月曜日から実行してみたいです。
- ・とてもためになりました。実際の人々のお話を聞いたのが大変参考になりました。
- ・職場で使ったことのないコミュニケーションツールを中心に基本的な操作方法や知識を勉強することができました。
- ・どのような機器があるのか。機器の使い方。少しずつ理解できました。改めて、様々な講習会に参加し

て行きます。

- ・とてもすばらしい研修でした。ノウハウももちろんですが講師の方、一人ひとりの患者さんを大事に思う・考えている姿が1番必要で求められることだと改めて思いました。
- ・初めての講義だったので、すべてのことが新しく、はあー、ほおーと感心するばかりでした。コミュニケーションツールを使って、楽しかったし、いろいろ感じることができました。職場では実際に使う事はないでしょうが、相談があったときに伝えることができればと思います。
- ・大変勉強になりました。有り難うございました。
- ・多くの機器を実際に見たり、体験させていただき、ありがとうございました。自分が知らないと患者さんにもときめいてご案内できなかったのも、とても助かりました。いろいろな工夫をすることで、様々な可能性が広がることがわかりましたが、工夫をするためには自分1人ではできなくて、ネットワークが大切であることがわかりました。次回を楽しみにしています。参加者名簿があると良いなと思いました。
- ・今回、長い時間iPadのスイッチ操作を体験させていただき、やっと理解ができました。この理解をいかに伝えていけるか伝えていきたいと思います。

最初に答えていただいた困っていることは、今回の講座を受けて解決しそうですか？

1. 解決すると思う 18

→参考になったプログラムはどれですか？

- ・透明文字盤、口文字実技練習。レッツチャット、他全て参考になりました。
- ・ほぼすべて当てはまりました。
- ・伝の心、PCの使い方を知らなかったのが知ることができました。コードの差し込みとかも。
- ・コミュニケーション支援ツールのハーティラダー。ALSの方はいずれ使えなくなると、伝の心などは必要とされません。そんな中、フリーソフトで使えるものを一緒に考え、使っていこうと思った。
- ・本間先生のコミュニケーション支援。
- ・本間先生の講義、iPhone。
- ・機器紹介。本間先生のお話。
- ・全部。
- ・透明文字盤の操作方法。伝の心の操作方法。
- ・ハーティラダーの体験。
- ・上記体験もそうだが、支援者、私自身のハートが大切だと思いました。

2. 解決しないと思う。 0

→どのようなプログラムがあればよかったですか？

以上